



京都大学

Welcome to Kyoto University

研究室訪問について

今年も夏休み中に京都大学への研究室訪問を実施します。一度に大勢を相手にしたオープンキャンパス[8月7日(木)・8日(金)実施]とは違い、少人数対象で懇切丁寧な指導により、最先端の研究に触れることができたり、大学における学生生活がどのようなものであるかを実感できる絶好の機会です。部活動の予定と重なったり、定員充足のためオープンキャンパスに申し込みできなかった人は、この参加機会を是非活かしてみよう。また、昨年参加した人も、初めての人も、進路選択の参考にすべく、奮って参加してみよう。

今回は、以下に示す工学系の4コースの募集です。

1. 工学研究科 掛谷一弘 准教授 研究室

8 / 1 (金) or 2 (土) の午後

- ◇定員 6名程度
- ◇課題の簡単な説明

20世紀のはじめの四半世紀に提唱・完成された量子力学は、ニュートン力学とは全く異なる概念を持ち込みました。量子力学の発展の歴史、発見のドラマを紹介しつつ、未知の世界を探求していく興奮を伝えたいと思います。

実験として、4.2ケルビンまでの超伝導体などの電気抵抗を測定します。

2. 工学研究科 引原隆士 教授 研究室

8 / 20 (水) 14時～17時

- ◇定員 4名
- ◇課題の簡単な説明

「ししおどしを電子回路でつくろう」：ししおどしは、流れが一定の水を受けて、周期的に運動します。これは発振現象と呼ばれ、例えば、電子機器の“体内時計”として使われています。電子工作を通じて、発振現象のメカニズムを考えましょう。

3. 工学研究科 雨宮尚之 教授 研究室

8 / 20 (水) 14時～17時

- ◇定員 5～7名程度
- ◇課題の簡単な説明

超伝導現象の不思議について、実験を通して体験して頂きます。例えば、磁石が、浮いたまま回転したり、ブランコのように吊り下げられたり、あるいはジェットコースターのように走ったりといった現象を体験してもらい、その不思議な物理現象について出来るだけ分かり易く説明します。さらに超伝導現象を利用した世界最先端の応用についても、動画などを使って説明します。

Ohmの法則を超えた不思議な物理現象を知りたい方、是非お越しください。

4. 工学研究科 三上養一 教授 研究室

8 / 20 (水) 14時～17時

◇定員 6名程度

◇課題の簡単な説明

光デバイス材料の成長見学と物性評価体験

< 京都大学研究室訪問 **実施要領** >

I. 申し込み方法

下の参加申込用紙に必要な事項を記入し、進路室前にある箱に提出してください。

研究室訪問に参加することを必ず保護者に伝えておいてください。

II. 参加人数の調整・実施日

申し込み数が各研究室の受入人数を上回った場合は抽選等によって調整をします。

(1. コースの実施日は、申し込み者の希望により参加する日程を決定します。)

III. 当日の集合

原則として現地(桂キャンパス)集合ですが、本校の教員が付き添います。

参加を申し込んだ生徒には、現地へ行くための詳細な案内を追って配布します。

IV. 問い合わせは 物理準備室・山本洋まで。

----- キ リ ト リ -----

京都大学研究室訪問 参加申込用紙

参加を希望する研究室の番号・担当者名を記入してください。

※ 実施日の異なる複数の研究室に参加を申し込むこともできます。

A 番号 _____ 担当者名 _____ (准)教授 研究室

B 番号 _____ 担当者名 _____ (准)教授 研究室

(申込日) 平成 26 年 7 月 _____ 日

_____ 年 _____ 組 _____ 番 生徒氏名 _____

締切 7月24日(木) 15:30

進路室前にある箱に提出してください。